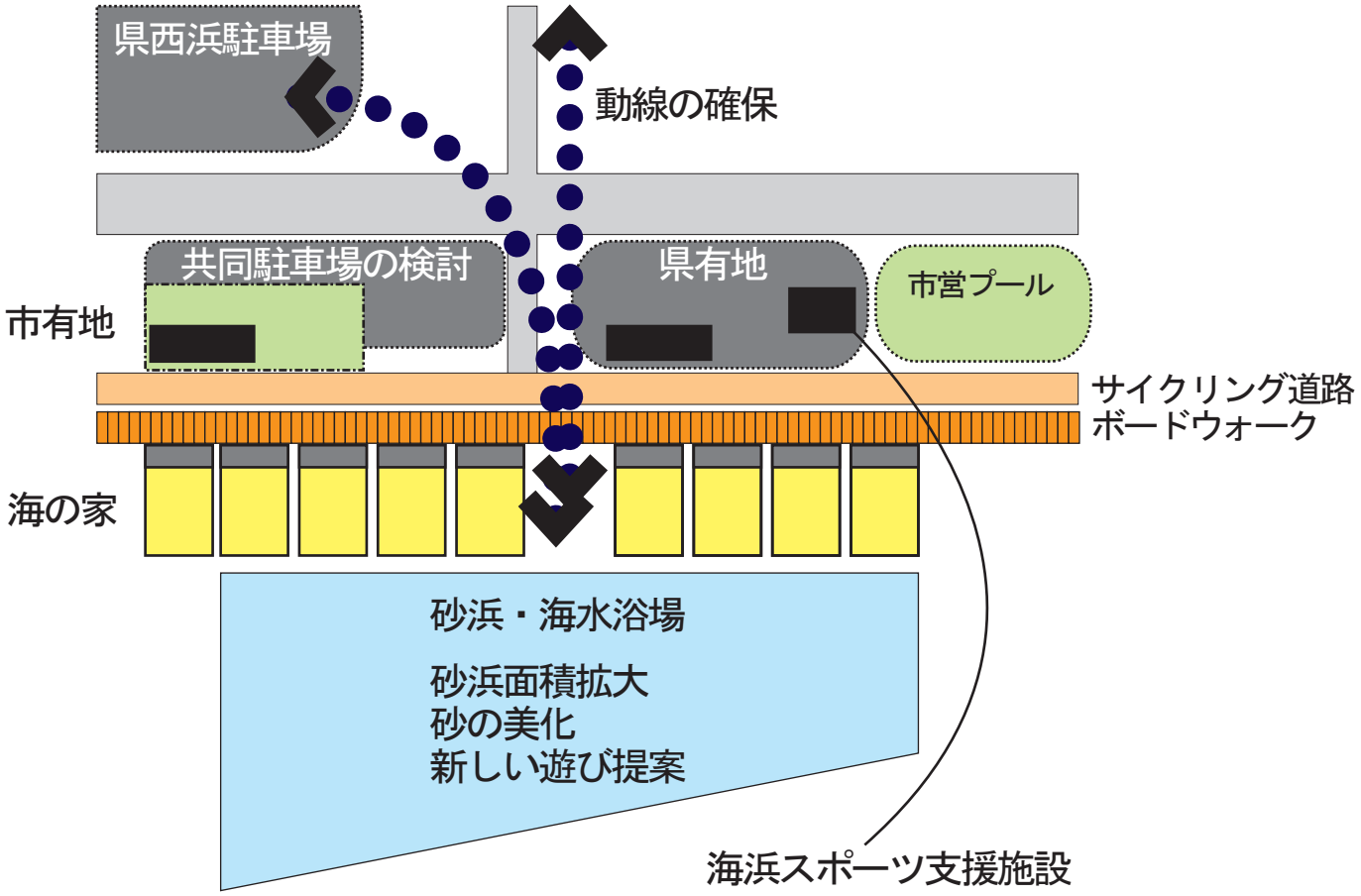
資料3

海の家の将来像の検討　組合の皆さんとの再度意見交換（2月6日

分離型海の家の提案内容について
■前提条件として
海の家は6間の12間のスペースが必要。
以前に全部のお店を一つの建物の中に入れる提案をした。
壁が必要です。
分離するとしたらシャワーや厨房は別々にほしい。
海水浴期間以外は組合が共同で使うことも考えられる。
提案のコストも提示してほしい。
■課題として
海の家は、サイクリング道路の海側で全てまかないたい。便利である。
今までは全てまとまっていた。分かれてしまうのは大きな問題。
シャワーも更衣も厨房も切り離すには抵抗がある。一軒でまとめたい。
■海の家のあり方などについて
新しいスタイルの建物を考えている。
みんなで共同して通年営業する海をつくりたいという思いはある。
建物を作ったり壊したりするのにお金がかかることは問題。
戦後は海辺が利用できない時期があった。
大きな海の家をつくり共同で利用した。更衣室などは共同利用した。
Tバーには冬場も夜間も人がいる。デッキだけで人が沢山きている。
海水浴場もそのような人を寄せる場所にしたい。

駐車場について
■駐車場の移転について
今の位置の駐車場では海が狭いままになる。大きい浜が必要だ。
分離型の海の家をつくるなら駐車場を移転するほうがよい。
駐車場を移動して浜を広くすることも必要。
■課題として
駐車場を確保する地面がない。
昔は国道134号沿いに駐車場用地が沢山あった。
県営駐車場をつかっても誘導する人がいない。
県営駐車場からの移動手段を準備したい。シャトルバスとか。
駐車場の売り上げも組合の運営に貢献している。
駐車台数と売り上げ金と両方を確保したい。
134号に案内看板がほしい。馬入川を渡ったところに欲しい。
■車以外の来客について
茅ヶ崎駅にも看板があるとよい。
■現状
駐車場は6時から開けて10時前にはいっぱいになる。
昼から来る人もいる。
今後の検討について
組合だけで考える時間がほしい。
共同経営すればコスが下がることは分かっている。
利益配分などに課題がある。

継続して　検討すべき課題